

平成28年度 東京藝術大学美術学部 科目等履修生(一般) 募集要項

特定の研究目的をもって、本学部開設科目の履修を希望する者に対して、授業及び研究に支障がない限り、本要項の定めるところにより、選考のうえ履修を許可する。

1. 出願資格及び履修範囲

- (1) 高等学校卒業以上の学歴を有する者。
- (2) 前項と同等以上の学力があると大学が認めた者。
- (3) 履修できる科目は、別紙開設科目のうち、2単位以上12単位以内に限る。
- (4) 実技科目の履修は認めない。
- ※ 外国人志願者は、授業履修に支障のない日本語能力が必要である。

2. 募集人員 若 干 名

3. 選考方法 書類審査及び面接

4. 単位の認定 授業科目を履修し、所定の試験等を受け、合格した者には所定の単位を与える。
(同一科目の単位再加算はしない。)

5. 在籍期間 1年間 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

6. 出願方法等

① 出願方法	郵便受付のみ	
② 受付期間	平成27年11月24日(火)～平成27年12月14日(月) ※郵便局消印がこの期間内のもの。	
③ 提出書類	(1) 科目等履修生願書	本学部所定の用紙。
	(2) 最終学校の卒業証明書	本学部出身者は不要。
	※(3) 戸籍抄本1通(コピー可)	※ 改姓して証明書と現在の氏名が違う場合のみ提出。
	(4) 健康診断書	本学部所定用紙又は医療機関が発行する診断書で、所定の事項が記載されているもの。
	(5) 写真1枚	受付期間前3ヶ月以内に撮影したもの(縦4cm×横3cm)を願書所定欄に貼ること。
	(6) 小論文	履修希望科目ごとに研究の目的等を2,000字以内にまとめ、科目名、氏名を記載する。
	(7) 入学試験検定料振込金 受付証明書提出用紙	検定料振込後に銀行から返却される「C票」を貼付して提出(次項「7」参照)。
	(8) 返信用封筒	角型2号封筒に住所・氏名・郵便番号を明記し、140円切手を貼ったもの。
④ 出願手続	提出期限内に、『美術学部科目等履修生願書在中』と朱書し、書留郵便で送ること。 【送付先】 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 美術学部教務係	
⑤ 面 接	履修希望科目担当教員が、それぞれに定める面接日時(別紙参照)に各自集合のこと。	

7. 検定料の振込方法について

検定料：9,800円

この要項に添付されている検定料振込依頼書を使用し、下記の事項に従い、

平成27年11月24日(火)から平成27年12月14日(月)までに振り込むこと。

取扱金融機関	都市銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、農業協同組合、ゆうちょ銀行(郵便局) ※金融公庫では振り込みできない。 ※ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能。 詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせのこと。
振込手数料	振込手数料は各自負担のこと。 ※三井住友銀行・本支店から振り込む場合は無料。
＜ 注意 ＞	① ATMでの振り込みはできない。金融機関窓口で納入すること。 ② 振り込みの際、返却されたB票、C票のうち、 C票(氏名記入、収納印のあるもの) を「 入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙 」(15頁)に貼付して提出。 (B票は本人控え)

8. 履修の決定及び入学手続

履修の可否及び入学手続については、3月中に大学から文書で通知する。

入学手続	4月上旬予定		
納入金	入学手続時	入学料	28,200円 (入学手続後は、入学料の返還はしない)
	入学後	授業料	1単位につき14,800円 (例;1科目2単位の場合／14,800円×2＝29,600円)
※ その他の提出書類等については、大学からの通知文で指示する。 ※ 科目によっては、曜日・時限・テーマ等が変更されることがあるので、必ず履修科目を再確認すること。			

9. 注意事項

- ・願書受付後はいかなる理由があっても書類の変更・返還はしない。
また次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

- ①検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった(願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった)場合。
- ②検定料を誤って二重に振り込みした場合。

＜上記①②に該当した場合の返還請求の方法＞

便せん等を使用し、下記①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「C票」を添付して、
東京藝術大学戦略企画課経理係（〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送にて請求のこと。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④受験予定の専攻・研究分野
⑤金額 ⑥返還請求の理由 ⑦振込先（銀行名・支店名・
普通口座／当座口座の別・口座名義(カタカナ)・口座番号)

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になる。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月を要する。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた
委任状を返還請求願と一緒に送付のこと。

- ・この募集要項発行後に納入金額が変更された場合は、変更後の額による。
- ・平成28年度の時間割編成に伴い、科目によっては時間割等が変更される場合があるので、
手続時に確認すること。
- ・履修を許可された科目でも、事情により履修ができない場合は、履修生の申し出により、
これを取り消すことができる。ただし、**納入済みの授業料等の返還はしない**。
- ・外国人については、履修が認められても「留学」の在留資格には該当しないので注意すること。
- ・学生旅客運賃割引制度は適用されない。
- ・成績証明書の発行は申請のあった場合のみとし、前期・後期ともに成績発表日以降と
する。
(前期:9月下旬、後期:3月下旬)

以 上

【お問合せ】
TEL 050-5525-2124
東京藝術大学 美術学部教務係

平成28年度 東京藝術大学 美術学部
科目等履修生(一般) 願 書

フリガナ						男・女	【写真貼付】 ・タテ4cm×ヨコ3cm ・脱帽上半身正面向 ・3ヶ月以内に撮影したもの	
氏 名								
生年月日	昭和 平成 年 月 日 (満 歳)							
本 籍 地 (県名・国名)								
現 住 所 (連絡先)	〒 ー							
携帯電話等の連絡先			e-mail					
略 歴								
★本学出身者 在学時学生番号	学部			修士			博士	
学 歴 (高校卒業から)	年 月							
	年 月							
	年 月							
	年 月							
	年 月							
職 歴	年 月							
	年 月							
	年 月							
賞 罰								

履 修 希 望 科 目							※大学記入欄
科目名	期間	曜日	時限	担当教員名	単位	備考	判 定
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						
	☐ 前期 ☐ 後期						

※ 該当する期間に☑を記入してください。

以上の記載事項に相違ありません。

健康診断書

※出願前, 3ヶ月以内に証明したもの

氏 名 : _____

視力		聴力		結核（胸部X線検査）	その他の疾病及び異常
左	右	左	右		

診断の結果, 上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 年 月 日

住所(所在地)

医療機関名

医 師 名 ⑩

★本学卒業者のうち平成27年4月に本学の定期健康診断を受けたものは, 診断書の提出は不要。

_____ (以下 大学記入 _____)

【 所 見 】

教員名 ⑩
教員名 ⑩
教員名 ⑩

平成28年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋建築史Ⅰ	担当教員	野口 昌夫	学 期	前 期
古代ギリシア、ローマの壮大な建築の基準となっていたオーダーがルネサンス期以降になって再び力強く継承され、古典建築の言語体系が再構成されていく過程をバロック期まで見届ける。 一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスク、そして1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。ルネサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロッツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニに至る作品を概観する。 (注)「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること					

科目名	西洋建築史Ⅱ	担当教員	野口 昌夫	学 期	後 期
古代ギリシア、ローマの壮大な建築の基準となっていたオーダーがルネサンス期以降になって再び力強く継承され、古典建築の言語体系が再構成されていく過程をバロック期まで見届ける。 一方、キリスト教聖堂建築の流れとして、初期キリスト教建築とビザンティン建築からプレロマネスク、そして1000年以降のロマネスク、ゴシックに至る過程を追う。ルネサンス建築以降は、その主流をなすイタリア建築に重点を置き、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロッツォから、ブラマンテ、ミケランジェロを経て、マニエリスム期のパラディオとジュリオ・ロマーノ、そしてバロック期のボロミーニ、ベルニーニ、ガッリーニに至る作品を概観する。 (注)「西洋建築史Ⅰ」と「西洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること					

科目名	日本・東洋建築史Ⅰ	担当教員	光井 渉	学 期	前 期
江戸時代以前に日本列島で展開した建築と都市・集落について概観します。講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景と共に代表的な建築作品等を紹介していきます。 ◆ 各回の内容(予定) ○日本の建築(ガイダンス)／○建築の誕生(原始住居)／○美意識の誕生(神社建築) ○技術と空間(飛鳥奈良時代の寺院建築1)／○空間の大型化と建築群(飛鳥奈良時代の寺院建築2) ○都市建築の理念(平城京と平安京)／○都市住宅の原形(御所と寝殿造)／○和様の感覚(平安時代の建築) ○災害と復興(重源と大仏様)／○禅宗の建築(禅宗様)／○中世的世界の建築(密教建築) (注)「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること					

科目名	日本・東洋建築史Ⅱ	担当教員	光井 渉	学 期	後 期
江戸時代以前に日本列島で展開した建築と都市・集落について概観します。講義はおおむね時代順に沿ったテーマを各回毎に設定し、社会的・技術的な背景と共に代表的な建築作品等を紹介していきます。 ◆ 各回の内容(予定) ○舗設から部屋へ(中世住宅)／○もてなしの空間(座敷飾りと書院造)／○綺麗と数寄(茶室・数寄屋) ○戦乱と惣構(中世京都)／○権力の象徴(城郭建築)／○現代都市の誕生(城下町) ○町に暮らす(町並と町家)／○村に暮らす(農村と農家)／○専用住居の誕生(武家住宅) ○賑わいの空間(近世寺社境内) (注)「日本・東洋建築史Ⅰ」と「日本・東洋建築史Ⅱ」を併せて履修すること					

平成28年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	美学演習Ⅰ	担当教員	松尾 大	学 期	前 期
美学に関する英文のテキストを読みます。 テキストの正確な理解と、テキストが含意、触発する問題についての思考とを練習します。					

科目名	美学演習Ⅱ	担当教員	松尾 大	学 期	後 期
美学に関する英文のテキストを読みます。 テキストの正確な理解と、テキストが含意、触発する問題についての思考とを練習します。					

科目名	芸術学演習Ⅰ	担当教員	松尾 大	学 期	前 期
藝術についてのテキストの読解と、藝術についての作文の練習をします。 いずれに比重を置くかは参加者の意向を配慮して決めます。					

科目名	美学史概説Ⅰ	担当教員	川瀬 智之	学 期	前 期
この授業では、西洋の美学の歴史を、古代ギリシャから近現代のドイツやフランスに至る代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。また場合によっては、それらの思想と、特に近現代の美術作品との関連についても論じていく。それによって、西洋の古代以来の美学思想がいかに芸術の制作や鑑賞に対して大きな影響を及ぼしてきたかを理解することができる。より具体的には、プラトン、アリストテレス、プロティノス、レッシング、カント、ヘーゲル、ニーチェ、ボードレール、ベルクソン、ハイデッガーらの思想を扱う。					

科目名	美学史概説Ⅱ	担当教員	川瀬 智之	学 期	後 期
この授業では、西洋の美学の歴史を、近代から現代にかけてのドイツやフランスの代表的な哲学者、美学者、芸術家の思想を紹介、解説することによって辿る。また場合によっては、それらの思想と、美術作品との関連についても論じていく。それによって、西洋の美学思想がいかに芸術の制作や鑑賞に大きくかかわっているかを理解することができる。より具体的には、ベンヤミン、マリタン、メルロ＝ポンティ、マルディネ、アンリ、マリオンらの芸術論について論じる。					

平成28年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	日本美術史特講Ⅰ	担当教員	佐藤 道信	学 期	前 期
人間のアイデンティティー 近世まで宗教や自然、身分社会などと密接していた人間像の表現は、近代以降、イデオロギー、産業(大量生産)、科学などとの関係の中で大きく変わっていきました。人物から人間、そしてその解体から消滅へと向かってきた19～20世紀の人間像は、いま情報社会の到来で新たな局面を迎えています。時代・社会環境の変化に対する人間観の再定位ともいえるその変遷を、概観してみたいと思います。 ・イデオロギーと人間像 「現人神」、歴史画 ・産業と人間 機械・物質 VS 人間・身体 大量生産と著作権 物質社会から情報社会へ					

科目名	日本美術史特講Ⅱ	担当教員	佐藤 道信	学 期	後 期
人間のアイデンティティー 近世まで宗教や自然、身分社会などと密接していた人間像の表現は、近代以降、イデオロギー、産業(大量生産)、科学などとの関係の中で大きく変わっていきました。人物から人間、そしてその解体から消滅へと向かってきた19～20世紀の人間像は、いま情報社会の到来で新たな局面を迎えています。時代・社会環境の変化に対する人間観の再定位ともいえるその変遷を、概観してみたいと思います。 ・科学と人間 科学の万能化、人間から人類へ ・人間という偶像 神人同形と神人異形 人間像の解体 人型ロボット					

科目名	西洋美術史概説Ⅰ	担当教員	田邊 幹之助	学 期	前 期
西洋美術史の前半、特に中世の美術史を5世紀からの作品を中心に概観する。					

科目名	西洋美術史概説Ⅱ	担当教員	越川 倫明	学 期	後 期
授業内容は、西洋美術の流れを概観するもので、14～17世紀のイタリア美術を中心に、各時代の表現の特質を主として様式的観点から理解することを目的とします。					

平成28年度科目等履修生(一般)
対象科目講義概要一覧

科目名	西洋美術史特講	担当教員	佐藤 直樹	学 期	前 期
18世紀のイギリスでは、大人びた顔つきの子供の肖像が流行する。その後、フランスのグルーズによる感傷的な子供や、スペインのムリョによる貧しい子供たちの憂いを含んだ風俗画への熱狂もあり、大人のミニチュアのような子供ではなく、無垢な時期の子供たちの姿が、トマス・ゲインズバラやジョシュア・レノルズらによって描かれるようになっていく。それは、物語の主題よりも、愛らしい子供や若い女性を仮装させ、情緒性を優先する「ファンシー・ピクチャー」と呼ばれるジャンルの誕生であった。つまり、子供たちに衣装を着せて何らかの役割を担わせた空想の「コスプレ画」と言えよう。しかし、19世紀中頃には完全に飽きられ、陳腐な絵画と見られるようになってしまう。 しかし、それでもあえてジョン・エヴェリット・ミレイが、これまでのラファエル前派のスタイルから離れて子供を主題にした絵画を描くようになったのはなぜだろうか。それは、自らがレノルズ、ひいては18世紀英国美術の伝統を継承するという自負から、ファンシー・ピクチャーの復権を目指したからであった。 本講義では、ファンシー・ピクチャーの成立と衰退、そしてミレイによる復権と再流行を検証しながら、イギリスの週間新聞紙の複製版面においてミレイのファンシー・ピクチャーの評判が高まって行く経緯を明らかにする。それは民衆の美術受容に絡む問題だけでなく、「ファンシー主題」による写真の流行や現代のポップ・カルチャーを生み出す原動力にもなっていたはずだ。					

科目名	美術解剖学 人とかたち	担当教員	宮永 美知代	学 期	前 期
人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。 (注) 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。					

科目名	美術解剖学 人とかたち	担当教員	宮永 美知代	学 期	後 期
人体の外形と内部構造の関係の学びは、ルネサンス以降美術に不可欠な素養とされてきた。美術表現が多様化した現在も、人が生みだすかたちは本質的にヒトとしての身体感に起因する。人のかたちと動きの学びを通して、各自の造形表現を深め、自らのものの見方を広げてゆく。内容は、人体の運動機構(骨格と筋)を柱とし、かたちの由来、動きに伴う変化、さらに、造形表現された人体像の美性について論じる。 (注) 前期と後期を併せて履修することが望ましいが、前期のみ履修することも可能。 ただし、後期科目は前期を履修した者に限る。					

平成28年度科目等履修生(一般)

対象科目講義概要一覧

科目名	デザイン概説Ⅰ	担当教員	藤崎 圭一郎	学 期	前期
デザインとは何かを考える。デザインの基本的な定義から、21世紀になって拡張するデザインの定義をさまざまな事例をまじえて紹介する。 (注) 「デザイン概説Ⅰ」と「デザイン概説Ⅱ」を併せて履修すること					

科目名	デザイン概説Ⅱ	担当教員	藤崎 圭一郎	学 期	後期
近代とは何かをデザインを通して考える。現代の事例から歴史を遡るようにして、近現代デザイン史の概略を語る。 デザイン概説Ⅰよりも歴史的事例を多く取り上げる。 (注) 「デザイン概説Ⅰ」と「デザイン概説Ⅱ」を併せて履修すること					

対象開設予定科目及び面接日時

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期間	担当教員	曜日	時限	単位	日 時	場 所
西洋建築史Ⅰ	前期	野口 昌夫	月	3	2	1月8日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-411 室
西洋建築史Ⅱ	後期	野口 昌夫	月	3	2	1月8日(金) 16:30～	野口研究室
							総合工房棟 4階 B-411 室
日本・東洋建築史Ⅰ	前期	光井 渉	金	3	2	1月8日(金) 10:30～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
日本・東洋建築史Ⅱ	後期	光井 渉	金	3	2	1月8日(金) 10:30～	光井研究室
							総合工房棟 4階 B-412 室
美学演習Ⅰ	前期	松尾 大	金	3	2	1月8日(金) 11:00～	松尾研究室
							中央棟3階
美学演習Ⅱ	後期	松尾 大	金	3	2	1月8日(金) 11:00～	松尾研究室
							中央棟3階
芸術学演習Ⅰ	前期	松尾 大	水	2	2	1月8日(金) 11:00～	松尾研究室
							中央棟3階
美学史概説Ⅰ	前期	川瀬 智之	金	4	2	1月8日(金) 13:30～	川瀬研究室
							中央棟3階
美学史概説Ⅱ	後期	川瀬 智之	金	4	2	1月8日(金) 13:30～	川瀬研究室
							中央棟3階
日本美術史特講Ⅰ	前期	佐藤 道信	火	3	2	1月7日(木) 13:00～	佐藤研究室
							中央棟3階(309)
日本美術史特講Ⅱ	後期	佐藤 道信	火	3	2	1月7日(木) 13:00～	佐藤研究室
							中央棟3階(309)

対象開設予定科目及び面接日時

科 目 等						面 接	
授 業 科 目 名	期間	担当教員	曜日	時限	単位	日 時	場 所
西洋美術史概説Ⅰ	前期	田邊 幹之助	火	3	2	1月12日(火) 18:00～	西洋美術史研究室
							中央棟3階
西洋美術史概説Ⅱ	後期	越川 倫明	火	3	2	1月12日(火) 18:00～	西洋美術史研究室
							中央棟3階
西洋美術史特講	前期	佐藤 直樹	火	5	2	1月12日(火) 18:00～	芸術学科事務室
							中央棟3階
美術解剖学 人とかたち (前期)	前期	宮永 美知代	水	3	2	1月7日(木) 14:00～	美術教育 (美術解剖学Ⅱ研究室)
							中央棟4F 406 室
美術解剖学 人とかたち (後期)	後期	宮永 美知代	水	3	2	1月7日(木) 14:00～	美術教育 (美術解剖学Ⅱ研究室)
							中央棟4F 406 室
デザイン概説Ⅰ	前期	藤崎 圭一郎	金	4	2	1月12日(火) 11:00～	企画理論研究室
							総合工房棟3階
デザイン概説Ⅱ	後期	藤崎 圭一郎	金	4	2	1月12日(火) 11:00～	企画理論研究室
							総合工房棟3階

《面接について》

※願書提出後、上記の指定日時に面接を必ず受けること。

※面接を受けない場合は失格とし、納入済みの検定料も返却しない。

【授業時間】

上野校地：

1限 9:00～10:30 2限 10:40～12:10 3限 13:00～14:30 4限 14:40～16:10 5限 16:20～17:50

【教室場所】

上野校地：美術学部中央棟 1・2階、総合工房棟B棟

※ 授業時間割・講義内容等は予定であり、科目によっては、曜日・時限等が変更される場合もあるので、入学手続き時に必ず確認すること。この際、履修を許可された科目でも事情により履修ができない場合は、履修生の申し出により、これを取り消すことができる。

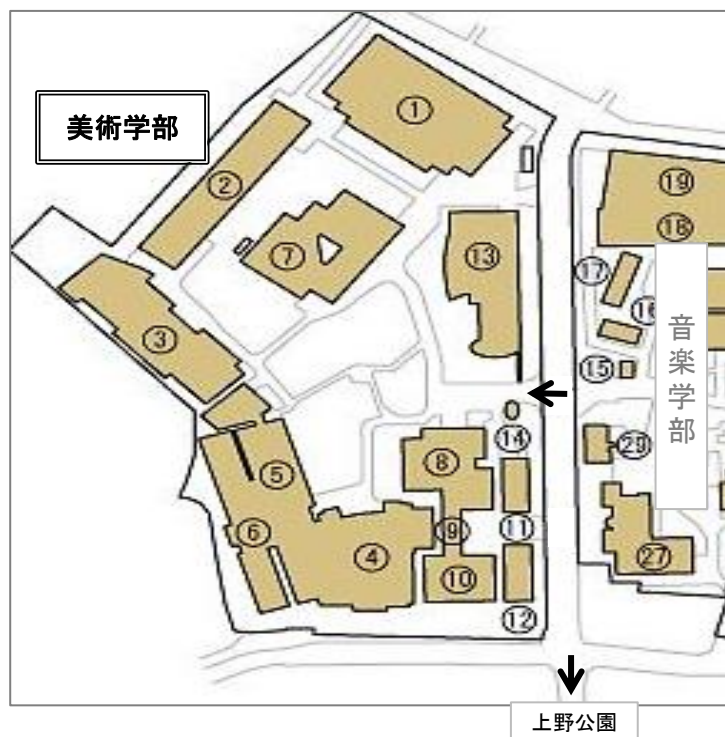


交通機関

【JR】 上野駅・鶯谷駅 …下車徒歩10分

【地下鉄】 銀座線・日比谷線 …上野駅下車徒歩15分、千代田線 …根津駅下車徒歩10分

【京成電鉄】 京成上野駅 …下車徒歩15分



- ① 絵画棟
- ② 彫刻棟
- ③ 金工棟
- ④ 総合工房棟(A棟)
- ⑤ 総合工房棟(B棟)
- ⑥ 総合工房棟(C棟)
- ⑦ 中央棟
- ⑧ 付属図書館
- ⑨ 芸大アートプラザ
- ⑩ 旧芸大美術館
- ⑪ 陳列館
- ⑫ 正木記念館
- ⑬ 大学美術館
- ⑭ 守衛所